

新年のごあいさつ

「子どもをまんやかに」保護者と指導員が 共に助けあいながらよりよい学童保育を つくりあげていきましょう

全国学童保育連絡協議会 会長 戸塚丈夫



読者の皆様、あけましておめでとうございます。2023年はどんな年でしたか。2023年春に、こども家庭庁が発足し、子ども関連の施策や情勢が大きな変化を見せています。

「学童保育」は、子どもがのびのびと主体的に自らの生活をつくりだす場です。これを保障するには、施設や外遊びの場所を含め、安全で安心して過ごせる環境を確保する必要があります。それには、専門的な知識を有した専任・常勤の指導員が、常時複数人体制で配置されることが不可欠ですし、子ども・保護者との安定的な関わりを継続するために、指導員の長期的で安定した雇用を確保することが必要です。

私たちは大切な子どもたちを守るために、学童保育が役割を十分に果たせるよう、諸課題を改善していく必要があります。

そのためには、保護者・指導員をはじめとする学童保育関係者が「保護者会・父母会」「学童保育連絡協議会」などをつうじて、交流・学習・研究を進め、行政への働きかけなどをひきつづき行っていくことが大切です。

月刊『日本の学童ほいく』は、創刊以来、こうした交流・学習の一翼を担ってきました。保護者・指導員・そして研究者の方々から寄せられたさまざまな記事が掲載されており、私自身、毎号多くのことを学び、力を得ています。ぜひ、今年も本誌を大いに活用し、学童保育の改善に向けた取り組みの輪を広げていきましょう。

2024年に開催される第59回全国学童保育研究集会は、岡山県で開催します。オンラインの利点も活用しながら、会場開催のよき点も十二分に感じ・味わえる、保護者と指導員が集う研究集會を共に楽しみ、盛りあげ、つくりあげていきましょう。

2024年が、皆様にとって充実した一年になりますように。子どもをまんやかに、保護者と指導員が共に助けあいながら、よりよい学童保育をめざして取り組んでいきましょう。

今年も、よろしく申し上げます。

